

生誕200年記念特別陳列

たちばなのあけみ

橋曙覧とその周辺

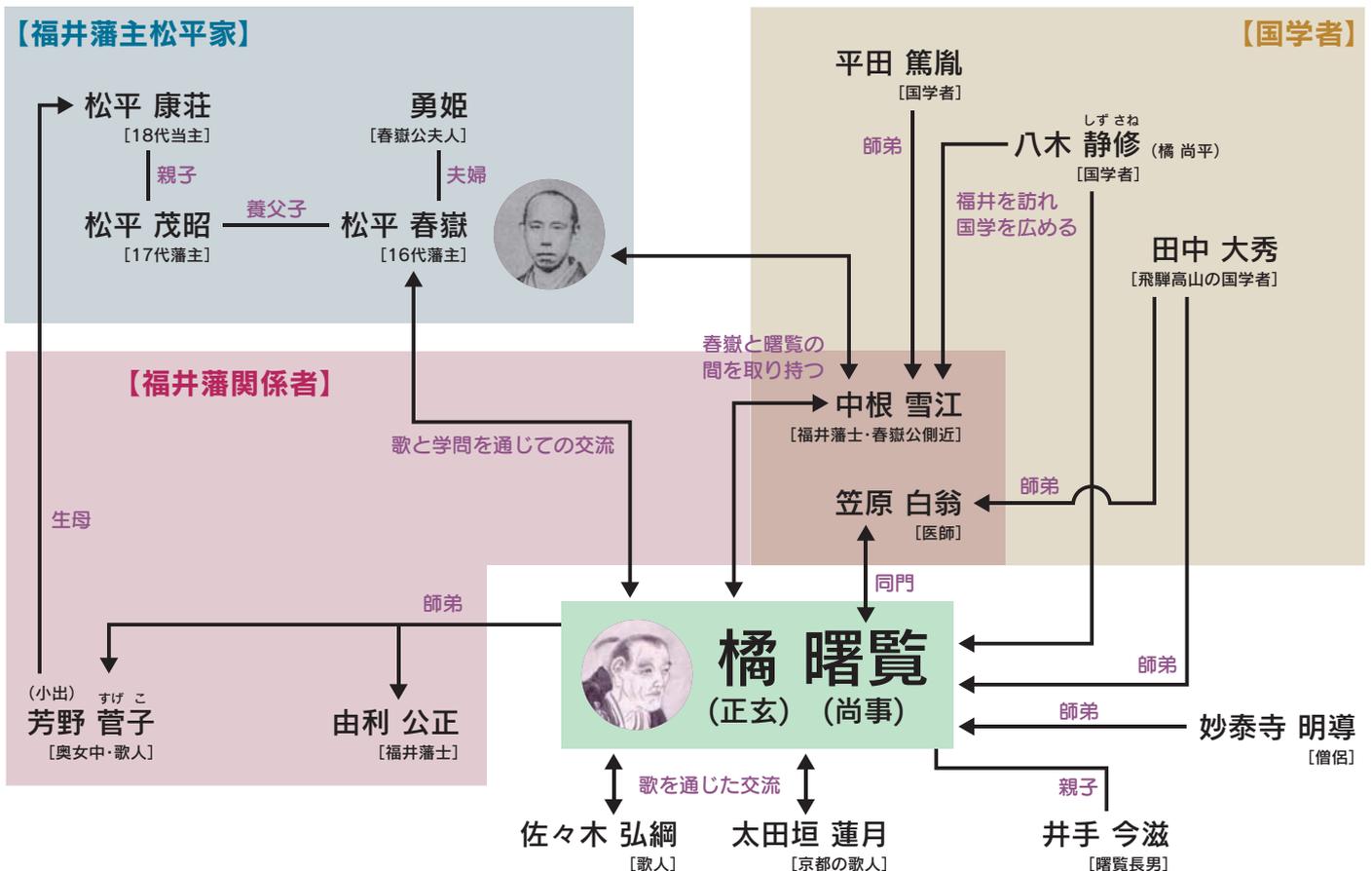
- 会場 松平家史料展示室
- 会期 平成24年7月4日(水) ~9月2日(日)
- 休館日 7月30日(月)

幕末の福井城下に生まれ、ほぼ越前の地でその生涯を送った歌人・国学者^{たちばなのあけみ}橋曙覧(1812~1868)は、彼の遺歌集『志濃夫廼舎歌集』に、「あるじはと人もし問はば軒の松あらしといひて吹きかへしてよ」(主人はおられるかと人がもし尋ねたら、家の軒の松の木に吹く風よ強く嵐のように吹いて「いないよ」といって帰らせておくれ)や「顔をさへもみちに染めて山ぶみのかへさに来よる人のうるささ」(顔までもモミヂのように赤く染めてハイキング帰りのついでに立ち寄る人の煩いことと言ったら、もうそれはそれは大変な迷惑で)などがあり、彼のこのような作品だけを見ていると、ほんとうに他人との付き合いが嫌いな隠棲の文人といった人柄が浮かんできます。しかし、実は江戸時代という厳しい封建社会にあって、たとえば松平春嶽夫妻、その養嗣子の茂昭といった藩主クラスから、農家、商家の文人たちに至るまで、身分や職業・性別を越えてその交友関係は極めて広範囲に及んでいました。それは、これらの人々が曙覧とともに文学や学問という普遍の価値観を共有できたからでしょう。そうした曙覧の理解者や後援者が曙覧の人物と作品の魅力を高めてきたことは否定できません。

この展示会では曙覧の生誕200年を記念して曙覧周辺の人々に注目し、曙覧がどのような人たちに愛され作品を残してきたのか、その一端を作品と史料などで紹介するものです。



●「橋曙覧とその周辺」人物相関図 (今回の展示に関係する人物に限定しています)



すずな園とは…

「すずな」とは春の七草の一つにも数えられるかぶ蕪のことで、春になると黄色の小さな花を咲かせます。曙覧の歌にはしばしば「すずな園」という言葉が出てきます。粗末な庵に住み清貧の生活を送る自分を、蕪畑の中でささやかに咲いている黄色い花にたとえているのです。

「橘曙覧とその周辺」展示品目録

| No. | 資料名 | 員数 | 所蔵 |
|-----|--|-------|------------------|
| 1 | 橘曙覧筆「花めきてしばし見ゆるも」云々の和歌短冊幅 | 一幅 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 2 | 橘（正玄）曙覧著橘（井手）今滋出版『橘曙覧遺稿 志濃夫迺舎歌集』明治11年8月刊 | 全五巻四冊 | 個人蔵 |
| 3 | 橘曙覧筆「みめぐみの露をあまたに」云々の自詠和歌幅 | 一幅 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 4 | 松平春嶽筆「たのしめる歌」 | 一卷 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 5 | 松平春嶽所用 黒蠟色塗携帯用煙草盆 | 一具 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 6 | 橘曙覧筆「かけがねをかくればはつし」云々の自詠和歌扇面 | 一握 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 7 | 松平春嶽及び家族（松平春嶽夫妻・茂昭夫妻・康莊）筆寄書 | 一幅 | 当館蔵（桑山家文書） |
| 8 | 松平春嶽夫人勇姫所用 扇模様蒔絵硯箱 | 一具 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 9 | 芳野（小出）管子肖像写真 | 一枚 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 10 | 芳野（小出）管子著『常磐迺古言』 | 一冊 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 11 | 橘曙覧筆「姫君の御葬を見奉りて悲しみて作れる歌」の長歌並びに反歌の懐紙幅 | 一幅 | 当館蔵（門野家文書） |
| 12 | 橘曙覧筆詞書「中根の君に奉書てふ紙ささけまつるとて」の自詠和歌短冊 | 一枚 | 当館蔵（中根家文書） |
| 13 | 橘曙覧・田中大秀・妙泰寺明導筆和歌短冊合装幅 | 一幅 | 当館蔵（宮崎家旧蔵）〔新収蔵品〕 |
| 14 | 八木静修（橘尚平）筆「こともなくたゝ大空に」云々他三首の自詠和歌幅 | 一幅 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 15 | 橘尚事（曙覧）賛「越前太守山口家御成之図」 | 一幅 | 当館蔵（山口家文書） |
| 16 | 荒木成基筆「足羽神社社頭の図」 | 一幅 | 当館蔵 |
| 17 | 橘曙覧筆「世の中の」云々の自詠和歌幅 | 一幅 | 当館蔵（宮崎家旧蔵）〔新収蔵品〕 |
| 18 | 橘曙覧筆 笠原白翁宛書簡二枚折屏風 | 一双 | 寄託品 |
| 19 | 笠原白翁筆『牛痘鑑法』草稿 橘曙覧朱筆書入 | 一冊 | 当館蔵 |
| 20 | 島雪斎刻橘曙覧和歌竹製杖 | 一杖 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 21 | 菱川師福筆「橘曙覧肖像画」 | 一幅 | 当館蔵 |
| 22 | 橘曙覧門人自筆自詠和歌短冊 | 五枚 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 23 | 由利公正筆詞書「水底月」自詠和歌幅 | 一幅 | 当館蔵 |
| 24 | 太田垣蓮月筆和歌賛「月にきりきりすの図」 | 一幅 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 25 | 太田垣蓮月筆自詠和歌短冊折本 | 一帖 | 福井市春嶽公記念文庫 |
| 26 | 佐々木弘綱筆詞書「ゆくりなく 松平正二位の君の わがむくらふをわけ給ひけるを さらに知り侍らで かへし奉りける話 かしこまりにさふらひ侍りて」の自詠和歌短冊 | 一枚 | 福井市春嶽公記念文庫 |

次回の展示

〈松平家史料展示室〉

テーマ展「越前松平家の名品14」

平成24年9月5日(水)～11月4日(日)

松平家史料展示室 展示解説シート No.67
平成24年7月4日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776)21-0489 FAX(0776)21-1489
担当 角鹿尚計、田中伸卓
印刷 白崎印刷株式会社